

# ちば里山新聞

(第3号)

編集 発行 ちば里山センター  
 袖ヶ浦市長浦拓2号 580-148  
 電話 0438-62-8895  
 題字 倉島 貴浩  
 (ワークホーム里山の仲間たち)

5月18日は千葉県の「里山の日」

5月は里山月間!

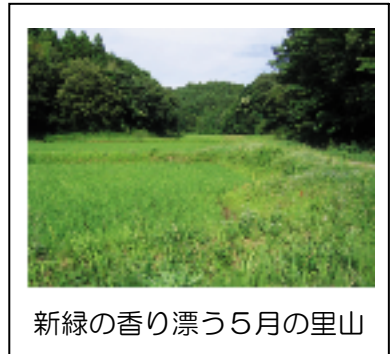
ちば

## 第2回 里山フェスティバル

さわやかな風。新緑萌える山々。田んぼでは、カエル合唱団が新入生を交え、ツバメの宙返りをぼっと見つめている。

そんな人や生き物たちの喜び満ちあふれる里山を舞台に、第2回里山フェスティバルが開催されます。

下記のとおり県内各地で多彩な催しものを準備し、お待ちしております。お知り合いの方にもお声をかけていただくようお願いします。



新緑の香り漂う5月の里山

<行事予定> 秋には「里山の市」を計画しています。

### ◆里山シンポジウム◆

テーマ「里山に託す私たちの未来」サブテーマ「里山と子ども」  
 (参加無料、事前申込み不要)

#### ★分科会の報告と総括の全体会

5/21(土)午後1時半から 我孫子市中央学院大学にて  
 基調講演 東京情報大学教授 原慶太郎氏

#### ★分科会

- 4/23(土)茂原市 稲作・水田分科会,生物・ピオトープ分科会(1)
- 4/29(土)千葉市 教育・学習分科会(1)
- 4/30(日)東金市 森林・林業分科会,竹分科会
- 5/1(日)千葉市 稲作・水田分科会,生物・ピオトープ分科会(2)
- 5/7(日)千葉市 教育・学習分科会(2)
- 5/15(土)千葉市 芸術分科会,医療・福祉分科会
- 5/15(土)鴨川市 食分科会
- 5/21(土)我孫子市 観光分科会,子どもの健康分科会,  
 政策分科会,文化・伝統分科会,水循環分科会,野生動物分科会

#### ★里山シンポジウムに関するお問い合わせ

里山シンポジウム実行委員会事務局長 荒尾  
 電話: 03-3824-6071 FAX: 03-3824-5980  
 メール: tmlarao@tml.co.jp  
 ホームページ: <http://jgoose.jp/satochiba>

### ◆里山漫遊と作業体験◆

~私たちの知らない里山がある!~  
 (参加無料、昼食持参、事前申込み必要)

#### ★コース案内

- 5/18(水)木更津市 上総アカデミアパークで草刈り作業と健康づくり(森林療法)コース
  - 5/21(土)君津市 海が見える桜の山で植樹・自然観察コース
  - 5/22(日)多古町 鮭がのぼる里で森の手入れと散策コース
  - 5/22(日)市原市ほか 植樹と養老溪谷水源の森を訪ね歩くコース
  - 5/28(土)佐倉市ほか 歴史や芸術と調和した里山で森の手入れと川魚見聞コース
  - 5/29(日)千倉町 潮風王国の里山で汗かき作業と遊歩コース
- \*5/18を除く各コースでは、千葉市内または最寄り駅から送迎バスを運行します。(バス定員40名)  
 参加を希望される方は、下記によりお申し込みください。

#### ★お申し込み

往復乗車に下記の項目を記載の上、直接、ちば里山センター事務局まで郵送してください。5月12日消印有効。  
 1.希望するコース名  
 (バス希望の方はバス希望とご記入ください)  
 2.参加者の住所、氏名、電話番号  
 \*葉書1枚につき1コース4名まで。また申し込み多数の場合は抽選となりますので、ご了承ください。

#### ★お申込み・お問い合わせは、ちば里山センター事務局まで

〒299-0265 千葉県袖ヶ浦市長浦拓2-580-148  
 電話: 0438-62-8895 メールアドレス: [info@chiba-satoyama.net](mailto:info@chiba-satoyama.net)  
 FAX: 0438-60-1522 ホームページ: <http://www.chiba-satoyama.net>

## イベント報告その1

# 1/23「里山フォーラムINちば」

去る1月23日、ちば里山センターの設立を記念し、市原市市民会館において「里山フォーラムINちば」が開催されました。定員1500人の会場いっぱいの人が集まり、里山に対する熱気にみちあふれていました。

第1部では、ちば里山センターの紹介や、地元市原市の活動団体である炭友会などの活動報告、総泉病院院長高野氏の講演「里山と健康」など、里山に関する発表が行われました。第2部では、歌手の加藤登紀子さんと堂本千葉県知事が里山との関わりや期待などについて対談し、最後は加藤登紀子さんのミニステージに聞き惚れて終了しました。

今回のフォーラムを通じて、里山活動団体間だけでなく、

里山活動団体と里山に関心を持つ方々との交流も促進され、フォーラム後、団体同士の連携や交流、個人の里山活動団体への参加など、里山活動の動きが活発化しています。

なお当日行ったアンケートでは、地元市原市からの参加者が多く、開催地である市原市がおおいに盛り上げてくれたこと、また多くの方が実際に里山活動をしてみたいと思っていることなどがわかりました。

## アンケート集計結果

アンケートは、1500枚配布のうち274人（18.27%）の方が協力してくださいました。

質問および回答	集計数	総数	割合
問1 このフォーラムをどのようにして知りましたか？			
1. チラシ・ポスター	67	274	24.54%
2. 友人・知人	51	274	18.61%
3. 市や県の広報誌	158	274	57.66%
4. その他	38	274	13.87%
問2 面白かったのはどれですか？			
1. ちば里山センター紹介	72	274	26.28%
2. 里山活動報告「炭友会」	144	274	52.55%
2. 里山活動報告「リコー」	112	274	40.88%
2. 里山活動報告「木更津高専」	229	274	83.58%
3. 講演「里山と健康」 (高齢者医療と森林療法)	142	274	51.82%
4. 「加藤登紀子さん・堂本千葉県知事里山を語り、歌う」	193	274	70.44%
5. ロビーでのパネル展示	54	274	19.71%
6. 農産物直売	36	274	13.14%
7. その他	1	274	0.36%

質問および回答	集計数	総数	割合
問3 フォーラムに参加して、里山活動をしてみたいと思いましたか？			
はい	195	274	71.17%
いいえ	22	274	8.03%
無回答	57	274	20.80%
また、里山に関わることで、してみたい活動、興味ある活動がありましたら○をつけてください。			
教育・学習	55	274	20.07%
医療・福祉	55	274	20.07%
森林	123	274	44.89%
水田	57	274	20.80%
文化・伝統	50	274	18.25%
観光	34	274	12.41%
水循環	48	274	17.52%
生き物	65	274	23.72%
産業廃棄物	26	274	9.49%
芸術	19	274	6.93%
政策	16	274	5.84%
その他	21	274	7.66%

\*皆様からいただいたご意見や感想など、アンケートの詳細については、ホームページに掲載する予定です。

## イベント報告その2

今年度のイベントだいじえすと

会員数も9月の18団体から104団体等に!

### (1) 里山1日活動体験



11/3 千葉市谷当町 「秋の里山で植樹体験」  
 11/23 君津市清和県民の森 「晩秋の里山で健康づくり」  
 12/5 千葉市下大和田 「初冬の里山で自然観察とクラフト制作」  
 2/5 船橋市 「早春の里山で子供のための体験教室」  
 3/6 八日市場市 「春の里山で森の古道散策」

### (2) 技術指導

#### 1. 団体指導



10/23 成田市 「実践森の手入れ・下刈り」  
 11/7 多古町 「賢い情報の発し方」  
 2/11 神崎町 「プロに教わる刃物の研ぎ方」  
 3/12 山武町 「プロに教わる刃物研修と植樹行事」

\*1/21 山武町「森の整備活用アドバイス」(写真なし)

#### 2. 初心者向け



11/6 千葉市谷当町 「入門森づくりの実践」  
 11/21 和田町 「里山の達人と一緒に森づくり」  
 2/27 和田町 「続・里山の達人と一緒に森づくり」

#### 3. 指導者向け



11/25-26 富津市 「チェンソーの安全研修」  
 2/20 袖ヶ浦市 「救急への対処法」

◆救急への対処法◆

救急時には応急処置も大切ですが、救急車が出るだけ早く現場に到着できることも重要です。そのため通報時に作業場所を説明できるよう、普段から住所や目標物などを確認しておきましょう。また山中の現場は見つけにくいので、わかりやすいところまで救急車を誘導に出しましょう。

(ホームページのイベント報告「救急への対処法」より抜粋加工)

## ★ちば里山センターから★

おかげさまで、平成16年度のイベントは事故もなく無事に終わることができました。

会員の皆様方には、今後も安全で楽しく里山活動をしていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

\* イベントの案内や、一部イベントの詳細なレポートについてはホームページで公開しています。是非ご覧ください。

ちば里山センターホームページ：<http://www.chiba-satoyama.net>

# 里山だより

房総の原風景である美しい里山を取り戻すために、様々な市民活動が行われています。今回は、市民農園を活用している方からお便りをいただきましたのでご紹介します。

## 市民農園で農地の効果的活用

千草台園芸サークル代表幹事 **廻谷 義治**

### ☆ 遊休農地を市民農園で解消しよう。

多くの人々の農業に対する見方を反映してか、農村には若い人々が少なく、各地に遊休農地が目立ちます。また、本来は地場ものを求める野菜ですら、国内自給率は80%程度に落ち込んでいます。一方で、自然回帰やふるさとを求める人々は耕す空間を求めています。しかし、農家以外の人々が耕すことのできる市民農園は、農地を提供する農家の人々の不安から、なかなか増えていきません。

もし、多くの農家が農地提供の不安を取り除き、各地に目立つ遊休農地を市民農園に変えていったならば、人々は健全なアウトドアのガーデニングで健康生活を手に入れることが出来るとともに、新鮮で美味しい地場野菜の大切な意味を深く理解します。そして、農地は有効活用され、農村は人の流れが定着して活性化し、荒れていた山や里の保全につながります。

このような市民農園を定着させていくためには、市民農園を利用する人々が“農地”や“作物”を十分に理解し、楽しく利用を続け、農地を提供する農家が安心していられる環境と仕組みを作っていくことが大切です。農家1人や数人と数十人から百人を超える利用者の交渉関係を作るのではなく、農家と利用者が1:1のパートナー関係を持つようなルールと仕組みを作ることです。その中で、農家は安心して楽な農地管理ができ、利用者はお互いに力を寄せ合って創造的なガーデニングを楽しむことができます。

このような事例が千葉市内にあります。市民農園利用者団体として33年目を迎えた千草台園芸サークルの市民農園活動です。

### ☆利用者が運営管理に参加する農園は楽しい。

この市民農園では、一人の園主とサークル代表幹事が1:1で話し合っ管理・運営を行っています。100人の会員の中から30人近い幹事を選んで、それぞれが色々な分担を行いながら、実際の管理・運営を行っています。



2月末のサークル総会で1年がスタートし、3月のジャガイモの定植、4月の果菜類の苗の共同購入が行われ、作物がすくすく育っていきます。利用者の多くは長期継続会員であるので、栽培のベテラン揃いですが、毎年加わる数人の新しい会員には、先輩会員が丁寧に指導してくれます。

春に種子を蒔いたり苗を植えた野菜は、6~7月に収穫最盛期を迎えますが、7月の第1日曜日は夏作の品評会が行われます。毎回30名を超える会員が80点前後の出品を行い、会場の農園広場に集まった50名を超える参加者が投票で賞を決めます。入賞者の表彰が行われた後は出品物をセリで販売し、終わったあとは、青空の下で昼食です。

行事は、この後、8月のソーメンを食べる会、9月のバス旅行、10月の畑審査、11月の収穫祭(秋作品評会とイモ煮会)、12月の畑の餅つき、1月の七草粥を食べる会と行われ、次の年度の準備につなげます。そして、行事の準備から運営等の全てを、幹事を主体に会員の手で行われます。この市民農園の施設は、全てが利用者(サークル会員)の手で作られ、その施設を利用しながら、日常的な市民農園活動を行っており、園主は安心して見ております。そこには、会員の主体性と行動する楽しみがあり、一つのコミュニティがあります。

このような利用者管理型(あるいは参加型)の市民農園を地域に定着させていくことにより、遊休農地は減少し、地域は活性化していくものと期待しています。

**日本一の産地、千葉県**

落花生

**やっぱりおいしい!**  
**千葉県産の落花生**

～生産から加工・販売まで信頼の一貫体制!～

じっくりと煎りあげた「いりざや」  
バター風味の「バタピー」

薄皮のまま塩水で味付けした「味付け豆」  
などなど、魅力的なラインナップが勢揃い!  
ご贈答用にも最適です。

「いりざや」

★ご注文・お問い合わせ先 **JA全農ちば**  
〒280-0031 千葉市中央区新千葉3丁目2番6号(全農会館内)  
JA全農ちば 米穀畜産事業部 米穀推進グループ  
電話：043-245-7374 Fax：043-244-7241  
ホームページ：http://www.cb.zennoh.or.jp